

# 現代世界思想史. 中巻. 1

— 20世紀中葉, アメリカの内外 —

倉 田 稔

## はじめに

本稿は、拙書『現代世界思想史序説 上』（丘書房 1996年）に直接続くものである。すでに拙稿「『現代世界思想史序説 上』への追加、そして戦後日本社会と思想(1)」(『商学討究』50の4)および「『現代世界思想史序説 上』への補い(2)、外国の部」(『商学討究』51の4)が出ている。ここでは、拙書への補遺がある。本稿では、世界の思想について述べる。『……序説』の「中の2」となる。

20世紀は、社会主義の実験と衰退の時代であった。第1次世界戦争でヨーロッパが衰退してから、第2次大戦後、アメリカとソ連が世界政治の中心となった。大戦直後から1991年のソ連崩壊まで、冷戦が続いた。その間、20世紀の主役であったアメリカが、ヴェトナム戦争から相対的に衰退を始めた。

20世紀は、石油と電機と自動車の時代であった。アメリカを初めとして、大衆社会がやってきた。大量消費、大量生産、大衆文化、大都会の時代となった。20世紀末に情報化社会がやってきた。アメリカは20世紀の最初から、世界の経済大国になっていた。そして第1次大戦で焼け太り、第2次大戦で、アメリカは超大国になった。それが道徳的に揺らぎ始めたのである。

### 1 第2次世界戦争直後の国際情勢

1945年8月15日、日本はポツダム宣言を受諾し、無条件降伏をした。

1945年10月24日に国際連合ができた。12月には世界銀行とIMF（国際通貨基金）が発足した。

1946年2月24日に国連に原子力委員会ができ、アメリカが原爆を独占した。6月からビキニ環礁で原爆実験がされた。アメリカで原子力エネルギー委員会が作られた。1947年6月に、ヨーロッパの経済復興計画であるマーシャル・プランが施行された。

1946年にチャーチルの「鉄のカーテン」演説がなされ、1947年には米大統領トルーマンの反共演説がなされ、米・英は、ソ連への対決姿勢を強めた。トルーマンは反共のゴチゴチであって、冷戦を準備した。アメリカは、民主主義者ルーズヴェルトの時代からは大いに変化していた。レーニン以来、資本主義国を憎悪するというよりも、それを恐怖していたソ連の政治家にたいして、ソ連への敵対を煽るのは行き過ぎであった。

1947年、ソ連はコミンフォルム（＝ヨーロッパ共産党・労働者党情報局）を創設した。ただし、1948年にはユーゴスラヴィアがここから除名された。

1947年6月にアメリカで、タフト・ハートレー法、つまり赤狩り、労働組合弾圧の法律が通った。7月にCIA（中央情報局）が発足し、ペンタゴン（＝国防総省）も発足した。非米活動委員会は、平和・民主主義者を共産主義の名で弾圧した。

1949年、西側諸国は、軍事条約である北大西洋条約（＝NATO）を締結した。こうして第2次大戦後は、冷戦の時代が始まる<sup>1)</sup>。

## 2 アジアで

1946年、フィリピンがアメリカから独立した。アメリカは経済的理由から独立を与えた。1948年、ビルマおよびセイロンがイギリスから独立した。1949年、インドネシアがオランダから独立を闘いとった。

仏領インドシナでは、1941年にヴェトナム独立同盟（＝ヴェトミン）ができ、

---

1) 『グローバル資本主義の物語』NHK ブックス。

日本軍に抵抗した。日本軍の降伏後の1946年に、ヴェトナム民主共和国が作られ、ホー・チミンが大統領となった。だがフランスはそれを認めず、インドシナ戦争を始めた。それは1946年から54年（休戦条約）まで続き、この結果フランスはとうとうヴェトナムを手離した。だが北緯17度線を境に軍事境界線が敷かれた。またフランスに代わってアメリカが介入し、1955年に南ヴェトナムを作った。

こうしてすべてではないが、ほとんどのアジア諸国は、1940年代に、十分とは言えないまでも政治的独立をかちとった。

### 3 南アフリカのアパルトヘイト

南ア共和国は、白人が人口の5分の1を占め、1948年以来、オランダ系白人の国民党が政権を握り続けている。アフリカの流れをよそに、1948年に通行証法、1949年に背徳禁止法（つまり黒人が白人と結婚すると8年の刑）、1953年にパンツァー教育法（つまり黒人と白人を完全に分離して教育する）、1959年にパンツァー自治法（つまり黒人を指定地域に押し込める）という人種隔離＝アパルトヘイトの法律を次々と制定した。

### 4 水 爆

1950年1月、アメリカ大統領トルーマンが、水爆の製造を指令した。世界は新しい時代に入った。

1950年2月、マッカーシー議員が爆弾演説をして、赤狩りを呼びかけた。平和主義者を共産主義者だとレッテルを貼って、3月から赤狩りが始まった。1952年にチャップリンがアメリカを去ってイギリスに、つまり追放された。ローゼンバーグ夫妻が、ロシアのスパイ容疑で、7月と8月に逮捕され、無実の罪で裁判にかけられ、死刑判決を受けた。1953年に電気椅子で処刑された。1954年末までマッカーシズムの時代が続いた。

アメリカは世界制覇の道を歩んだ。資本主義諸国つまり西ヨーロッパと日本を支配し、各国に軍事基地を置いた。アジアとラテン・アメリカに新植民地主

義的支配を行った。アメリカは世界の憲兵と言われた。そのために国内を非民主化する必要があった。

ビキニ環礁で核実験がされ、中部太平洋で60日以上の実験がされた。ソ連も原爆を持ち、軍拡競争が始まった。1952年にソ連は、第2回実験に成功し、量産に入った。こうして米は、原爆独占にやぶれた。だから戦術用小型核兵器と水爆製造をねらうのであった。

1952年11月1日に、アメリカは、エニウエツク環礁で、世界最初の水爆実験を行なったと、発表した。イギリスは、1952年10月2日に原爆実験をした。

1953年1月20日から軍人・アイゼンハワーが大統領になった。

次いで1953年8月12日に、ソ連は初の水爆実験を行なった。乾式水爆であった。

その後1954年3月1日、アメリカによるビキニ乾式水爆実験がされ、日本のまぐろ漁船、第五福龍丸の久保山愛吉氏が被爆して死亡し、原水爆の危険性が認識され始めた。

当時、核抑止力が信じられていた。核武装していれば戦争を抑止できるというものであり、これで軍拡が始まった。ソ連首相となるフルシチョフは、「戦争はもう不可能になった」と言うことになる。

アメリカでは、1951年12月29日、アイダホ州アーコ国立原子炉試験場で、原子力発電が、非実用であるが始まった。1954年6月27日、ソ連は実用発電所を作った。1956年にイギリスは商業的発電所を作った。こうして原始力発電がはじまった。アメリカでは、無数の核実験を、国内でも行なった。ユタ州でロケをした映画『征服者』の一団は、通常の3倍の癌発生率を経験した。原爆の技術は発展し、それから、一方では、地上でなく、地下核実験が行われるようになった。放射能汚染は、5年の潜伏期をへて、ガンになる。日本の児童のガン死亡率は、広島から5年後から急成長した。1957年に、日本初めて東海村原発が完成した。

## 5 朝鮮戦争

金日成は、1937年の有名な普天堡の戦いで活躍した英雄であり、将軍である。

彼は1900年ころ生まれた。本名を、金成柱といい、1937年秋、日本軍に包囲され、戦死した。朝鮮では独立闘争で多大な功績を残した人物を、金日成と呼ぶようになった。何人かが、金日成と呼ばれた。

北朝鮮の首領となる金日成は、1912年生まれで、本名は、金聖柱である。幼少のころ中国に移住した。1932年の父の死後、中国人の養子になった。母は生活に困った。彼は日満軍に追われてソ連へ越境した。そして中ソ共営のスパイ部隊・ブヤッコエの第八八特別偵察旅団の大隊長になった。同時にソ連共産党員になった。1940年冬、彼は、日本の討伐隊に追われ、満州からソ連へ逃れ、取調べを受けた。その彼を中国共産党が保証した。中国共産党は、満州抗日連軍を作り、金聖柱もこの一員で、チン・リーヨンといった。戦後朝鮮半島に進駐したソ連が、この聖柱に目をつけた。彼は金日成<sup>2)</sup>になりすました。

これまで朝鮮独立はカイロ宣言で決まっていた。1945年、モスクワで、米・英・ソ外相会議で、統一政府樹立話合いが着かず、国連へ持ち込まれた。朝鮮委員会が設置され、北朝鮮は非協力だった。1948年8月に選挙があり、李承晩の大韓民国ができる。北は、9月9日、朝鮮民主主義人民共和国を樹立した。

南＝韓国に、米軍が駐留した。李承晩は、南北の武力統一を考えた。金日成も同じくそう考えた。

1950年、アメリカは韓国と軍事協定を結んだ。そして朝鮮戦争を準備した。だが1950年6月25日、北朝鮮軍の奇襲攻撃を受けて南朝鮮側がそれに反撃を開始した。戦争を望んでいたアメリカにとってはチャンスだった。こうして朝鮮戦争が始まった。金日成は、なぜかアメリカの介入はなしとみた。

戦局は一進一退であった。北へは中国・ソ連の援助、特に中国は参戦し、南へはアメリカの援助が入った。1953年7月2日、朝鮮戦争が終った。北緯38度線で分割する休戦協定が結ばれた。朝鮮戦争によって、戦後経済の停滞に陥っていた日本は、発展のきっかけを与えられた。この戦争は、20世紀後半のアジアの戦争の型を決めた。つまり大国の代理戦争であった。

---

2) 『金日成選集』あり。1994・4・8死。

北では、戦後復興がすすんだ。千里馬運動が命じられ、ノルマ以上の生産を目指すようになった。朝鮮戦争が始まってから、アメリカでセックス映画が作られ始めた。

## 6 映画

1950年代に、アメリカでは西部劇の傑作がでた。アラン・ラッド、ジャック・パランス主演の『シェーン』。ゲーリー・クーパー、グレース・ケリー主演の『真昼の決闘』(1952年)、である。戦前は、ジョン・フォードとジョン・ウエインの西部劇が最盛で、ア・プリオリに、インディアンを悪人と見、白人を善人と見なしていた。50年代には、悪い白人とよい白人の対決が主題となった<sup>3)</sup>。

一方、ルネ・クレマン監督の「禁じられた遊び」、マーガレット・ミッチェルの原作で、Vivian Leigh, クラーク・ゲーブルが主演した「風と共に去りぬ」の名作が生まれた。ソ連のエイゼンシュテインも頑張っていた<sup>4)</sup>。ウォルト・ディズニーが、漫画家となり、アニメーション映画を作った。1955年にディズニー・ランドを作って、新しい娯楽が始まった。

## 7 文化人類学

新しい文化人類学が誕生した。それは、研究者が長期に実地に住んで研究対象の民族を観察することによって生まれた。まずその代表は、マリノフスキーである。彼は、1884年にポーランドに生まれた。クラカウ大学で物理・数学のドクターをとり、ライプチヒで民族学に転換した。その後、ロンドンで学ぶも、文献研究の限界を知って、オーストラリアへ野外研究に行った。ニューギニアのトロブリアンド島人の調査を始めたが、第1次大戦により、長期の調査になった。1922年に、その成果、「西太平洋の遠洋航海者」を出版した。

次に続いたのが、クロード・レヴィ・ストロースである。彼は、1908年ベルギーに生まれ、パリで学んだ。マルクス、フロイト、ソシュール、マリノフス

3) 1990年の『ダンス・ウィズ・ウルヴス』では、インディアンを善とみる。

4) 『現代・・上』を見よ。

キーの影響を受けた。後者はもちろん、「西太平洋の遠洋航海者」である。

彼は、ブラジルのインディアン諸種族の実態調査を敢行し、『親族の基本構造』(1946年)、その後『悲しき熱帯』(1955年)を書く。

『悲しき熱帯』は、旅行記であり調査でもある。彼は、ブラジルのカドゥヴェオ族とナンビクワラ族の生活を描く。後者は、裸民族である。彼はそこに、人間を見いだす。

彼の構造主義的人類学<sup>5)</sup>は、大きな影響を与え、いわゆる構造主義の第1人者となる。構造主義の発想は、ソシュールからあり、フーコーらが、つぐのであった。

## 8 ライト・ミルズ

ライト・ミルズ(1916-62)は、『ホワイト・カラー』(1951年)を出した。20世紀はホワイト・カラーの時代である。この意義を初めて着目したのは、ヒルファディングの『金融資本論』である。ミルズはこの存在を全面的に社会学的に解明した。新中間階級とする。その他、『パワー・エリート』などの書がある。

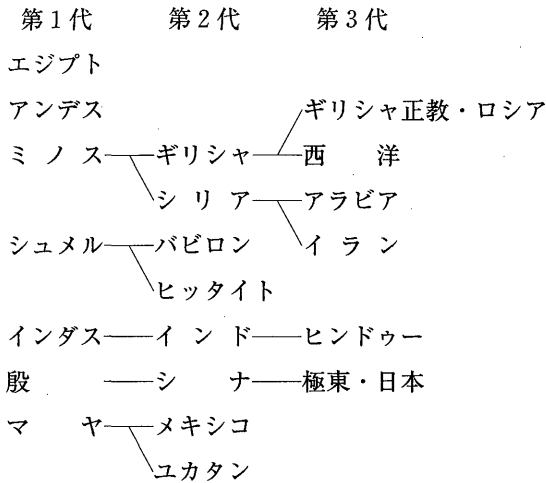
## 9 トインビーと『歴史の研究』

トインビーは、1899年生まれのイギリス人で、ギリシャ研究者であった。古代ギリシャと現代の共通性を知り、第1次大戦と、シュペングラーの『西欧の没落』の構想などに影響され、西欧を超克しようとした。ヨーロッパ史の時代が永久に過ぎ去った、ヨーロッパ人はヨーロッパを乗り越えなければならない、と彼は思う。40年間の研究で大著『歴史の研究』を出版した。驚くほどの巨視的な文明把握がそこでなされた。20世紀最大の歴史家と呼ばれ、あるいはアマチュアとも言われる。だがこれは公平な観察とプラグマティズムであり、視野は広いが深みにやや欠ける。この書は国家史ではなく、比較文明史的世界史である。国家・民族・階級でなく、世界文明圏を扱う。社会と文化の統一体を文

---

5) 作. 『構造人類学』『野性の思考』。

明とし、21の文明の発生・成長・破綻・崩壊を比較研究する。そして過去と現代と比較して共通性を延べ、諸文明の親子関係を探る。その結論は次の図で現わせる。



彼はヨーロッパ人の視野の革命をした。ヨーロッパが世界なのではない、と。後年、原子力や戦争、アジアの文明などで啓蒙的発言を行なった。彼によって人は世界の中にいるのだということを知ることになった。

## 10 アインシュタイン

アインシュタインは<sup>6)</sup>原子力が理論的に可能だと云う。

1933年にナチに追われ、アメリカへ行き、プリンストンの高等学術研究所にいたアインシュタインは、折りに触れて書いた随筆・寄稿・演説などを集めて『晩年に想う』(Out of my Later Years)を出版した。アインシュタインが単なる天才的物理学者にすぎないのではないことが、ここで示された。「拘束力

6) アインシュタイン『晩年に想う』1950。伝記 ゼーリヒ『アインシュタインの生涯』。



のある超国家的な世界政府を樹立することが、原子力の国際管理にたいする先決問題である。」国連ではない。（『晩年に思う』）亡くなる年の1955年、ラッセル・アインシュタイン宣言に署名し、ラッセルによってパグウォッシュ会議が開かれた。

## 11 ユーゴスラヴィア

1918年、第1次大戦の終結で、セルビア・クロアチア・スロヴェニア王国ができたが、1927年にユーゴスラビアと変えた。第2次大戦には、1941年に反ナチ・レジスタンスが起き、チトーが一斉蜂起を呼びかけた。ユーゴスラヴィアでは独自のゲリラが作られ、自らの手でナチから解放された。1943年には、チトーは臨時政府を作った。大戦中、スターリンはユーゴスラヴィアの共産化を警戒した。西欧との関係悪化をきらったからだ。チトーは、亡命政権を承認せず、国王帰国を禁止したが、スターリンはそれに反対した。

戦後1946年、ソ連・ユーゴ合併会社設立の件がもたらされた。ユーゴは同意したが、ソ連だけが利益を得ると知り、そこでユーゴはそれを拒否した。チトーは、ソ連に疑問をもったのだ。彼はソ連との経済取引は損だと知った。

1948年に、ユーゴ代表がクレムリンに呼ばれ、ユーゴ外交政策をソ連と事前に協議する協定文に署名させられた。またアルバニアを併合せよとのスターリン命令に、ユーゴは従わなかった。こうして1948年、コミンフォルムはユーゴ共産党を破門した<sup>7)</sup>。

ユーゴは新社会主義思想を開拓した。1950年法で労働者自主管理を決めた。これは分権的経済、新しい社会主義の道であった。ユーゴの「社会所有」とは、労働者が直接管理することで、労働者評議会が企業運営の中心になる「市場社会主義」であった。ただしチトーは警察は握った。ユーゴは多民族国家であった。ユーゴは、国有化社会主義でない道、そして国有化は社会主義の1つの道であることを示した。この工場自主管理はしかし失業・出稼ぎを生んだ。実際

7) ミロヴァン・ジラスは、『新しい階級』を書いている。

は南北経済問題を抱え、失業率が高く、ストライキもあった。

コミンフォルム追放後、ユーゴは非同盟中立国となった。1955年に、チトーとフルシチョフは和解する。

## 12 スターリン論文と、死

戦後、社会主義圏では、スターリン (1879-1953)<sup>8)</sup>の時代であった。彼は東欧までも支配した。「スターリン論文」といわれる「ソ同盟における社会主義の経済的諸問題」(国民文庫版あり)は、世界でもてはやされた。現代資本主義は「最大限利潤」を求めるといふ。「最大限利潤論」は、当時彼のカリスマ的支配のせいで、圧倒的に支持された。だが考えて見ると、間の抜けた定義であった。

1953年に、ソ連首相スターリンが死んだ。これは衝撃だった。1人の死がこれほど大きかった例は余りない。1953年、東ベルリン暴動、ポーランドおよびハンガリーで政変が起きた。

## 13 人工衛星

1957年に、ソ連初めて人工衛星スプートニクが成功した。その後、スプートニク2号が、ライカ犬を乗せて成功した。同じ1957年にアメリカも挑戦し、失敗した。ソ連は、ミサイルICBMの打ち上げに成功した。一方で、ソ連のミサイル秘密基地が爆発し、これは秘密とされた。

アメリカのスパイ機U2が飛び、1960年にU2の撃墜事件が起きた。それはアメリカの秘密偵察機だった。ソ連上空を飛び、ソ連ではミサイルが余り配備していないことを知った。それは秘密にされた。アメリカは過剰反応をしていた。1960年ソ連でミサイルが爆発炎上した。

1961年4月に、ソ連は有人飛行に成功した。飛んだのはガガーリンであった。しかし当局は彼が死ぬことを前提としていた。アメリカは、月に行くと発表し

8) 文献『全集』大月書店。伝記、ドイツチャー『スターリン』みすず書房。トロツキー『スターリン』合同出版、がある。

た。

ユーリー・ガガーリンは、スモレンスク州の農村に1934年に生まれた。農民の子であった。少年時代から空にあこがれた。

1950年代、米ソの宇宙競争が始まった。ツイホルスキーはロケット研究をしていた。1953年、無人ルナが打ち上げられた。その後、まずライカ犬を打ち上げて実験した。犬は皆死んだ。1960年8月、初めて犬が生還した。1960年8月に、ロケットの発射のさいに爆発して、98人が死んだ。これは秘密にされた。

ガガーリンは、宇宙飛行士としてエリート・パイロット20名の1人に選ばれた。彼は訓練をした。その後6名の中に選ばれた。

1960年代は宇宙時代の幕開けだった。ソ連はアメリカより先に人間を打ち上げる必要があった。1961年3月、人形イヴァン・イヴァノヴィチを打ち上げた。ガガーリンは最初の宇宙飛行士に選ばれた。誰でもよかったが、労働者出身ということからであった。飛行前、彼は遺書を書いた。1961年4月12日ポストーク1号が発射された。その時、自動制御であった。手動に転換する番号を教えないことにしていた。つまり死んでもしかたがない、というものだった。だが技術員イワノフスキーは、可愛そうだと思って、秘かに教えた。飛行時間108分。パラシュートでロシア農村に着陸した。地球を1回まわった。軀は固定されていた。機械は自動だった。実験台だった。人間を観察するだけだった。降りてすぐ彼は共産党中央に電話した。「生きているんだね」が最初の言葉だった。

飛行状態は撮影されていなかったので、あとで撮影された。秘密主義だった。ソ連は成功の自信がなかった。

彼は国民英雄になった。そして世界訪問をした。ソ連の宣伝のためだった。小柄で、きさくだった。だが飛行体験をくわしく語らなかった。語れなかったのである。ガガーリンはその後、宇宙アカデミーに入った。再び飛びたいと思って、勉強した。

ゲルマン・チトフが2人目として飛んだ。彼はロケット内部で実験をした。

1968年3月29日、ガガーリンの乗った訓練戦闘機ミグで、教官が心臓発作を起こし、気を失った。墜落した。ガガーリンは死んだ(クズネツォーフ『ガガー

リンの死』)。

1961年、ソ連が水爆実験をした。広島の数倍で、四国くらいの広さが全滅するものだった。フルシチョフが第22回ソ連共産党大会で予告した。製造にサハロフが参加した。彼は「水爆の父」と言われた。だがサハロフは実験に反対した。しかし参加した。2500km離れた所でも強い放射能があった。日本にもその放射能がきた。

#### 14 ハンガリー

ハンガリーでは、1945年に総選挙があり、小農業者党が圧倒的に勝利した。だが、ソ連と、ハンガリー共産党ラーコシの統治がされ、小農業者党への弾圧が行われた。1948年に、社共が合同し、ハンガリー勤労者党が出来た。1949年以降、共産党が候補者の統一名簿を作るようになった。ここにもノーメンクラトゥーラができるのだった。1949年、大臣ライク・ラースローがスパイだとでっちあげられ、逮捕され、裁判がされた。1953年、スターリンの死亡により、ナジ・イムレが首相となり、改革をした。しかしラーコシにおい落とされる。

#### 15 スターリン批判

ソ連ではその後、フルシチョフが跡を継ぎ、1956年に第20回党大会の秘密演説で、「スターリン批判」(講談社学術文庫)を行ない、スターリン個人崇拜とその犯罪を非難した。これは深刻な衝撃を与えた。ポーランドやハンガリー、東ドイツの東欧諸国では動乱・政変が起こった。スターリンの犯罪は、その後、ロイ・メドヴェージェフによっても『共産主義とは何か』(三一書房)の中で研究された。

フルシチョフは、スターリン時代における国家の官僚化・硬直化を改善しようと考えた。また、政治的に失脚しても生命を失わない時代を作った。スターリン批判が行なわれたことで、東ドイツ、ポーランドで政変が起き、その影響でハンガリーでも政変が起きた。1956年のそれはハンガリー動乱と呼ばれる。

1956年10月22日に、ハンガリー全国の大学および高専の学生代表者会議が開かれた。そこでセゲド (Szeged) 大学学生会の提案14箇条と2箇条の追加をし、翌日デモと大会を開くことに決議した。1956年10月23日、学生と市民の大衆集會が開かれた。24日、ナジ・イムレを首相にした。同24日、ソ連軍がブダペシュト市内に入った。「第1次介入」であった。25日、治安警察の銃撃が始まる。ゲレーが解任、第1書記にカーダールになる。26日、ゼネストが行われる。27日、ナジの「愛国人民政府」声明がされる。29日、ソ連が撤退する。30日、民衆が共産党本部を襲撃した。11月4日、ソ連が軍事介入し、ナジ政権が崩壊し、ナジらがソ連に連行された。その後戦闘が1カ月続き、25万人が逃亡し、カーダール親ソ政権ができた。56年のブタペストの動乱で、3千人の死者、20万人の亡命者を出した。1958年に、ナジ裁判が起き、処刑された。

1956年には、ポーランド反乱が起き、ゴムルカが登場した。ベルリン動乱も起きた。

## 16 中国

中国で、中華人民共和国が1949年に成立した。毛沢東は、スターリンを訪問し、中ソ新条約を望み、やっと結べた。ここでスターリンは、ヤルタの特権を手放すが、1、中国の東北でソ連以外の企業認めず。2、ソ連軍が東北の鉄道使える、という秘密協定をし、スターリンの死まで効力があつた。

毛沢東は、土地没収をし、分配し、90%の農民が解放された。そして社会悪全廃運動を起こした。ここまでは良かった。以後は失敗の連続であつた。

1950年6月に朝鮮戦争が起き、国連軍の北朝鮮攻撃も始まった。10月、周恩来はソ連へ飛んだ。スターリンは中国の出兵を望み、しかしソ連は参戦しなかつた。毛は出兵を決めた。

中国では1953年に、第1次5か年計画が始まり、重工業優先政策がとられた。スターリンは、技術者を送って、援助=収奪を狙つた。その中でスターリンが死去した。1954年に憲法ができた。1956年にフルシチョフは、中ソ条約の2つの特権を否定した。

毛は、百家斉放百花争鳴のスローガンを掲げた。これは自由主義であった。ソ連のようにならないためであった。しかし知識人の批判が激しく、毛は、自由主義に反対する闘争を開始した。

毛は、大躍進運動を提唱した。農業集団化を人民公社によって進めた。共同の土地・農具で農業を行うことであった。村に、共同食堂や、学校・病院を作ることとした。大衆による建設を望んだ。大躍進運動の中心は、鉄鋼生産の増大であった。これは失敗した。森林伐採がされ、洪水が起こった。粗悪な鉄だけが作られ、鋼鉄は作られなかった。農業に人手がたりなくなった。1958年冬に、彭徳懐将軍は、この政策の破滅の前兆を見た。そして毛への批判の手紙を書いた。廬山会議で、毛が彭を批判し、国防部長を解任した。毛は、大躍進をすすめた。だが大躍進で2000万余の餓死者が出た。

1959年、中国はチベットを占領し、ダライ・ラマ14世は亡命するのだった。

## 17 ヴェトナム

ベトナムはフランスの植民地だった。ホーチミンが中国から帰った。だがかつての支配国フランスがアジアにいた。ベトミン（ヴェトナム民主同盟）が結成された。1946年に、ホー・チミンは、独立交渉のため、フランスへ行くが、交渉は決裂した。1946年、フランス・ベトナム戦争が始まり、ヴェトナムは首都ハノイを奪われた。ベトミンは中国から武装援助をしてもらい、アメリカはフランスを援助した。だが1954年、ディエンビエンフーの戦いで、3月、ホーは、攻撃命令をし、5月に陥落させた。ヴェトナムが勝利した。初めてのアジアの勝利であった。1946年以来のインドシナ戦争は、1954年に休戦条約が結ばれて、フランスのインドシナ支配が終った。だが北緯17度線を境に、軍事境界線が敷かれた。またフランスに代わってアメリカが介入し、1955年に南ヴェトナムを作る。

## 18 エジプト

ナセルのエジプト革命が1954年に行われた。1956年、エジプトはスエズ運河

国有化宣言をした。1956年10月、イギリスとフランスはエジプトのスエズ運河に侵略した。アルジェリア革命の根源がナセルにあると思ったのだ。1956年、イスラエルがシナイ半島を侵略し、第2次中東戦争、スエズ戦争が開始された。

## 19 インドネシア

インドネシアは、1950年に独立し、初代大統領にスカルノが就任する。1955年に、バンドン会議＝第1回アジア・アフリカ会議が開かれ、インドネシアは第三勢力として生きることになった。同時に新植民地主義の定義がされた。(『スカルノ自伝』、あり)

## 20 核実験・原発

フランスが、1960年12月13日に核保有国になった。1958年8月でアメリカの大気中の核実験は一応終わった。1961年から地下核実験の時代が始まった。1963年8月に部分核停条約が結ばれ、地上・大気核実験の停止された。これに米ソが協定した。中国は反対した。日本共産党も反対したが、あやまりであったと言う。1963年8月に、日本は原子力発電を実験した。1965年5月に、東海発電所が、第1号商業用を開始した。

## 21 W. W. ロストウ『経済成長の諸段階』

W. W. ロストウは、『経済成長の諸段階』 The Stages of Economic Growth, 1960年(ダイヤモンド社), を書き, その副題——一つの非共産主義宣言——は, 世界を刺激した。この書は, 近・現代世界経済史の理論であり, いわゆる近代化論の一つである。ロストウは, 社会は相互作用の有機体であるとする。そしてマルクスの一義的理解に反対する, つまり経済的な力や動機は歴史の過程のただ一つの圧倒的な決定要因ではないとする。

本書の内容は, アメリカ人特有なプラグマティックなものであり, 彼は近現代経済の歴史を5つの時期に区分する。

- 1 伝統的社会。
- 2 離陸のための先行条件期。
- 3 離陸期。
- 4 成熟への

前進。5 高度大衆消費時代，である。

- 1 伝統的社会は、主に農業社会で、政治権力は土地所有者の手にあった。
- 2 離陸のための先行条件期は、1と3の過渡期であり、例として17世紀終りから18世紀初めの西ヨーロッパである。世界市場の拡大と国際競争が力を与えた。経済進歩が可能だという考えが広がった。新しい型の企業家精神をもった人々が現れた。中央集権的国民国家が建設された。
- 3 離陸 (Take off) は、普通にいう産業革命にあたる。着実な成長にたいする古い妨害物や抵抗が最終的に克服された期間である。主として技術が近因でおこり、投資率が国民所得の5%から10%またはそれ以上に上昇する。例えば、イギリスは1783年以後の20年間に、フランスとアメリカは1860年までの数十年間に、ドイツは19世紀の第3・四半期に、日本は19世紀の第4・四半期に、ロシアとカナダは1914年以前の25年間にあった。1950年代にインドと中国が離陸を開始している。
- 4 成熟は、常に成長する経済が、近代的技術を経済活動の全戦線にわたっておし広めてゆく、時期である。離陸が始まってから60年前後かかって成熟期になる。国民所得の10ないし20%が投資され、産出高が人口増加を上回る。
- 5 高度大衆消費時代では、主導部門が耐久消費財とサービスに移って行く。決定的要因は、安い大衆自動車と、それが社会に与えた革命的影響であった。西ヨーロッパでは福祉国家を選んだ。アメリカは1920年代と1946-56年、西ヨーロッパと日本は1950年代、ソ連は技術的には入れそうだ。

以上、ロストウは、マルクス主義——彼は、それをしっかり読んでいない——に反対して経済史理論を作り上げたが、かなり平板で常識的である。ロストウが折角広い歴史的展望を示したのに、近代経済学者たちは、経済史に興味がなかったので、だんだん見捨てた。

## 22 アメリカの政治

1961年に、米ソ対立により東西ベルリンの間にベルリンの壁が作られた。170



万人がそれまで西ベルリンへ逃亡した。

1950年代から始まった米ソの宇宙開発競争は、60年代に入って本格的になった。

アメリカ大統領・共和党アイゼンハワーが、退任演説で、軍産複合体の危険を述べたことは、皮肉なことであった。彼は元帥であった。それほどアメリカは軍国主義に飲み込まれていた。

彼の後、民主党のケネディが1960年に大統領選で当選し、1961年1月に就任式を行なった。ケネディは就任演説で、アメリカの武力でおさえる平和を否定したが、全く実現しなかった。若い彼は、「ニュー・フロンティア精神」を掲げて、アメリカ人を活気づけた。さわやかな弁舌、フレッシュさで受けた。だが1961年4月、キューバのカストロを倒すために、CIAをキューバに上陸させた。これは失敗に終わった。また5月に、ヴェトナムに軍団を派遣するよう極秘命令を出した。彼の政治は矛盾していた。

1961年、ケネディがライシャワーを日本大使に任命し、それを断わりに夫妻で行った時、ケネディの机に日本再占領の計画があった。当時のアメリカ人はまだそういう意識があった。

1962年、映画スター、マリリン・モンローが怪死した。ここにはケネディ兄弟が関与していた<sup>9)</sup>。

フルシチョフがアメリカへ非公式に招待された。

1962年、キューバ危機が起きたが、水爆の力が背景にあった。

1962年10月、キューバ危機が起きた。キューバにミサイル基地をソ連が建設しはじめた件である。ケネディとフルシチョフが直接電話で交渉し、核戦争は危機一発であった。

ケネディは、鉄鋼値上げに反対していた。1963年11月22日、ダラスでケネディ大統領が、リー・ハーヴェイ・オズワルトに暗殺された。世界にショックが駆け巡った。だがその暗殺者とされた彼が、J. ルビーにすぐ殺された。その

9) 『マリリン・モンローの真実』。

ルビーもすぐサーハン・サーハンに殺された。1968年、弟の司法長官、大統領候補ロバート・ケネデイも射殺された。アメリカの恥部を世界は知らされたのである。

ケネデイ時代、アメリカは自信をもっていた。アメリカは1960年代から、経済的にヨーロッパ支配を狙った。随時、ヨーロッパの重要企業を買収した。こうして巨大な多国籍企業が登場した。その投資量は莫大なものであり、そのため、アメリカは資本収支が赤字になる1原因を作った。その上、世界の憲兵としてのアメリカは、世界に軍事基地網を作り、広げた。こうしてアメリカの資本輸出は、途方もないものになり、アメリカ経済にかけりを生んだのである。

### 23 サルトルの前進

実存主義者 J. P. サルトルは、世界で人気をもっていた。だが『方法の問題』および『弁証法理性批判』で、サルトルは、マルクスの方法を正しいとした。これによって、サルトルは多くのファンを失なうことになった。反マルクス主義の人々がサルトルから離れた。こうして、構造主義が力を持ってきた。1960年代に、実存主義とマルクス主義の対決の構図が消えて行き、構造主義が登場した、とされる。

### 24 レイチェル・カーソン『沈黙の春』1962

アメリカの女性生物学者カーソン（1907-1964）は言う。

現代の大量生産体制を基礎として、殺虫剤、除草剤が生産され、使用されて、環境が汚染される、池、川、井戸、地下水、そして土壌、森や林、海岸である。これら化学薬品で、人間、家畜、小動物、鳥、魚が殺傷される。これら殺虫剤は段々強力になり、大量に散布されるが、虫は抵抗力をもち、段々効かなくなる。

彼女は、この環境生態を科学的に解きあかし、人間の環境汚染を警告した。彼女は言う。「私たちの住んでいる地球は、自分たち人間だけのものではない。」  
「〈自然の征服〉とは、人間が得意になって考えだした勝手な文句にすぎない。」

自然の征服とは F. ベーコン以来の考えである。

## 25 ヴェトナム戦争の開始

ヴェトナム戦争が始まり、ヴェトナムでは米兵むけ売春婦、ストリッパーが激増した。その後米兵の性道徳感に地に落ちていった。とてつもない数でホモがふえ、そしてエイズ伝播でもとになった。

ヴェトナム戦争によって超大国＝アメリカがゆらいだ。国内で価値観が分裂した。ヴェトナム反戦運動が起き、徴兵忌避がなされた。1967年の反戦運動は高まった。10月21日にピークを迎え、国際反戦デーとなる。

カシアス・クレイは、1960年にローマ・オリンピック金メダルをとり、その後ヘヴィー級チャンピオンとなった。彼は無敗を続けた。だが、ヴェトナム戦争の徴兵を拒否し、有罪となった。チャンピオンを剥奪された。彼は、名をモハメド・アリと変えた。

ジョンソン対ロバート・ケネディの党内選挙は、ヴェトナム問題が争点となった。ジョンソンは次期大統領になるのを辞めた。共和党ニクソンが大統領となった。ニクソンは「名誉ある撤退」を望んだ。軍事費によってアメリカ経済が傾いたからだった。撤退が始動した。

大衆的には、エルビス・プレスリーは、新しいアメリカの音楽の1つの旗手になった。ロカ・ビリーが登場した。一方でヒッピーが世界的に登場した。

## 26 フルシチョフ失脚

フルシチョフは、スターリン時代における国家の官僚化・硬直化を改善しようと考えた。また、政治的に失脚しても生命を失わない時代を作った。彼は、党の農工2部門分割と、幹部職の一定任期制を考えた。(藤村信, 説)しかしそれは、ソ連のノーメンクラトゥーラ (= 支配階級) の利害を否定するものであったので、彼は64年にブレジネフによって失脚させられた。理由は、農業不振とされた。しかしソ連は、常に農業は不振であった。

## 27 黒人差別

アメリカでは黒人差別があった。これに反対して公民権運動が起きた。

マーチン・ルーサー・キング牧師 (King, 1929-1968) は<sup>10)</sup>, 1929年, ジョージア州アトランタに, 牧師の子として生まれた。勉強家だった。彼は黒人男子の大学に入り, 牧師資格を与えられた。そしてペンシルヴァニアの神学校へ行く。そこは黒人が少なかった。彼は, ソロー, ガンジーに感激した。卒業してボストン大学院に行った。そこで声楽学生コレッタと結婚した。北は自由なので, 北にとどまりたいが, 彼は, 1954年に南部のモントゴメリー (アラバマ州) の教会に勤めた。リンカーン大統領が当選した時, 南部6州が連邦離脱し, 代表がここに集まって, 南部同盟政府を作った所だった。当時の南部大統領はジェファースン・デーヴィスだった。南部は差別が大きい。アメリカ南部では, 1964年に公民権法が制定されるまで, 生活のあらゆる面で, 水のみ場まで, white only と colored に厳しく分かれていた。キングの生まれたジョージア州は, 南部で, 特に南部的 deep south であった。南北戦争後, 南部は奴隷制ではなくなったが, 反動的だった。K. K. K. も生まれた。黒人はリンチで殺された。南部に黒人の90%が住んでいた。1906年にアトランタの人種暴動が起きている。1915年に K. K. K. 復興の儀式が行なわれ, 1920代では団員が500万人であった。

モントゴメリーで, 1955年12月, ローザ・パークスがバスで白人に籍を譲らなかったのて, 逮捕された。彼女が座っていたのは時代精神だった。彼女は裁判にかけられた。黒人指導者が教会に集まった。そこでバス・ボイコットを考えた。12月5日, 黒人はバスに乗らなかった。白人は暴動を始めた。キングは, モントゴメリー改良協会の会長に選ばれた。そして集まった黒人に演説した, 「汝の敵を愛せよ」と。このボイコットは, 1年続いた。キングは最後まで非暴力を貫いた。最高裁は, バスでの人種隔離を違憲とした。1年後, 命令書を

10) 猿谷要『アメリカ黒人解放史』サイマル出版; 同『キング牧師とその時代』NHK ブックス; キング『自由への大いなる歩み』岩波; ローマック『黒人革命』みすず; ジン『民衆のアメリカ史』TBS プリタニカ。

出した。しかし市当局は反対した。バスに乗り込み始めた黒人に、白人は暴力をふるった。黒人側は、永続組織、南部キリスト教指導者会議を作った。キングはその議長になった。

1954年に最高裁は、公立学校に、人種分離教育を憲法違反と認めていた。1956年、黒人女子学生がアラバマ大学へ入学しようとして、白人たちが抵抗し、暴動になった。1957年、黒人9人が高校に入学しようとして、白人暴徒に追い返された。州知事も拒否した。アイゼンハワー大統領は、黒人に理解はなかったが、やむなく空挺師団を出して9人の黒人学生を守った。

キングは、1959年、インドに招待されて滞在している。1960年に、アトランタへ戻った。1960年にキングは、全米各地から「祈りの巡礼」をワシントンに向かっておこなった。3万7千人が集まり、キングは「黒人に選挙権を与えよ」と演説する。彼は救世主のように見えた。キングは雄弁家であった。

1960年、学生非暴力調整委員会が組織された。南部のノースカロライナ州で、ロバート・ウイリアムズが、白人の暴力に暴力で立ち上がろうとした。学校でも教会でも黒人の入るのは、進んでいなかった。1962年、黒人学生メレディスが最高裁の判決によってミシシッピ大学入学を認められた。だが、知事、大学、市民が反対した。キャンパスで戦闘、連邦軍が守った。

1963年は、奴隷解放100年であった。レストラン・シット・インがなされた。アラバマ州バーミングハムで闘い、6週間のデモが行なわれ、逮捕者が出た。ノースカロライナ州の学生が、白人だけのランチ・カウンターに座り込みを始めた。白人達がいやがらせをしたが、非暴力で耐えた。これが広がった。学生非暴力調整委ができ、白人リベラルとの共闘を考えていた。長距離バスでの差別撤廃運動が始まった。バスでシット・イン（座り込み）がされた。キングは逮捕された。警察の暴力が襲った。キングは、『獄中からの手紙』をかく。

1963年に、キングは、20万人でワシントンへに大行進をする。彼は、ここで名演説をする。「肌の色でなく人格で判断されるように」「I have a dream.」である。「We shall overcome」の歌が歌われる。

ケネディは、1963年から黒人問題に理解を示した。生活上の差別撤廃のため

に、公民権法案を議会に提出した。ケネディ兄弟は黒人問題に取り組んだ。黒人は、ケネディに投票するようになる。1963年11月、ケネディは暗殺された。南部へ遊説の途中であった。次のジョンソン大統領は、法案を実現した。1964年7月だった。しかしそこでは選挙権を含まなかった。

1964年、キングにノーベル平和賞が与えられた。1964年4月にニューヨークで黒人暴動が起きた。

1964年8月6日の新しい公民権法は、黒人の選挙権を守った。しかし1964年にアラバマ州セルマで、投票権妨害の選挙妨害事件が起きた。黒人青年が警官に殺された。抗議デモが計画されたが、弾圧された。

1964年には、ロス暴動が起き、警察官の暴行で死者34人が出た。キングは、大都市のスラムで非暴力直接行動が通用しないことを知る。そこでキングは、シカゴに住んでみた。だが白人に抵抗される。

1964年、ミシシッピ州で公民権運動の学生2人と黒人が、保安官らに射殺された。64年-66年は、長い暑い夏と言われた。黒人学生だったメレディスの1人行進が試みられ、彼は撃たれた。代わって5つの公民権団体がみな行進する。

このころ、ストークリー・カーマイケルの Black Power 思想がでてくる。白人リベラルとの共闘の批判、非暴力は不適當だ、キング批判、であった。マルコムXの影響である。そしてアメリカの学生運動は、世界に広がった。

1965年、マルコムXが暗殺された。マルコムXは、キングのように非暴力で白人の良心だけに訴えるだけでは解決しない、と考えていた。マルコムXは、1935年に、ネブラスカ州オハマで生まれた。父は牧師で、父、おじ、が皆、白人に殺された。イライジャ・ムハマドの創立したブラック・モスリム（黒人回教団）に所属した。白人憎悪になり、ムハマドから離れ、新しい政治組織を作った。白人からの分離独立を目指した。1965年2月21日、ハーレムで演説中に殺された<sup>11)</sup>。

1966年、黒人最初の閣僚が誕生した。1966年7月、シカゴ・デモが、1967年、

11) アレックス・ヘイリー『マルコムX自伝』河出書房；マルコムX『自伝』。

デトロイト暴動が起きた。

キングは、1966年からベトナム戦争反対表明をするようになった。力の分散を恐れて黒人リーダーは反戦に反対していた。1967年に、アメリカでベトナム反戦運動がピークになった。キングはベトナム反戦大会に参加した。アメリカでは、ベトナム戦争に対して1965年には賛成が極く高かった。67年には賛成と反対が交錯した。68年に反対が上回った。ジョンソンは大統領選に不出馬を決めた。

キングは、黒人だけでなく貧者の代表3000人を集める計画を、4月に行なうことを決定した。メンフィスで、黒人清掃労働者への差別がひどいので、スト、デモが起き、弾圧された。このころ過激グループが登場した。

1968年4月4日、キング牧師は、メンフィスのロレーン・モテルで暗殺された。銃で撃たれ、死んだのだ。39才であった。マルコムXと同じ年だった。全米で暴動の火の手があがった。ワシントンでも暴動が起きた。2カ月で犯人があがったが、背後関係は分からないとされた。アメリカは病んでいる、と世界の人が思った。CIAはキングの行動を全部知っていた。1968年、公民権法が通過した。